

令和2年度 事業報告書(案)

1 事業実施の方針

温室効果ガスの排出を大幅に削減するための革新的な技術開発と省エネルギー技術、再生可能エネルギー・新エネルギー技術の創出を目指し、低炭素社会の実現を図る観点から、本年度は環境エネルギー関連技術に関して、東北大学の技術シーズを中心に国や地方公共団体等の調査研究事業及び委託事業を行うとともに、再生可能エネルギーの国内外の活用及び普及促進を図り、地球温暖化ガスの低減に貢献するための活動を展開させた。その成果は、講演会やイベント等を介して、普及・啓発活動を進めた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
環境エネルギー技術に関する調査研究事業	自立稼働型の自家消費型太陽光発電システムの開発等に関するアドバイザー契約	令和2年4月～11月	北洲ハウジング(富谷)	3人	委託企業の従業員約5,000人	6,996
環境エネルギー技術の普及・啓発事業	機関誌「SFTEE News11号」発行	令和2年5月	みやぎNPOプラザ	3人	発行部数:300部(会員及び県内公共団体等)	99
	仙台市事業環境学習動画制作	令和2年7月	みやぎNPOプラザ	3人	視聴回数:400回	0
	防災と環境を切り口にした一般市民向けの出版企画・調査、原稿作成	令和2年12月～令和3年3月	みやぎNPOプラザ及び北洲ハウジング	3人		0